

災害リスクの現地表示:まるごとまちごとハザードマップ等

取組No	大和川	23	紀の川	24	熊野川	28	木津川	-
取組機関	滋賀県			連携機関	なし			

◎取組概要

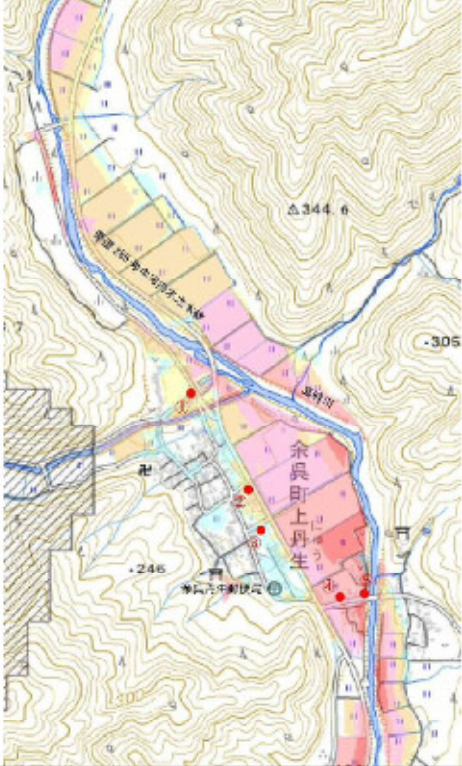
取組内容

1)円滑かつ迅速な避難のための取組
■水害・土砂災害危険性の周知
危険性周知が必要な箇所に来るごとまちごと看板を順次設置する。
●まるごとまちごと看板の設置(上丹生地区)

流域治水政策室
木之本支所
【第15回協議会報告済】

●まるごとまちごと看板(まるまち看板)の設置

1.設置箇所



2.設置状況



【出典】滋賀県 | 第16回湖北圏域水害・土砂災害に強い地域づくり協議会資料2-2 (令和4年6月9日)
<https://www.pref.shiga.lg.jp/file/attachment/5336519.pdf>

13

20

災害リスクの現地表示:まるごとまちごとハザードマップ等

取組No	大和川	23	紀の川	24	熊野川	28	木津川	-
取組機関	奈良県生駒市			連携機関	なし			

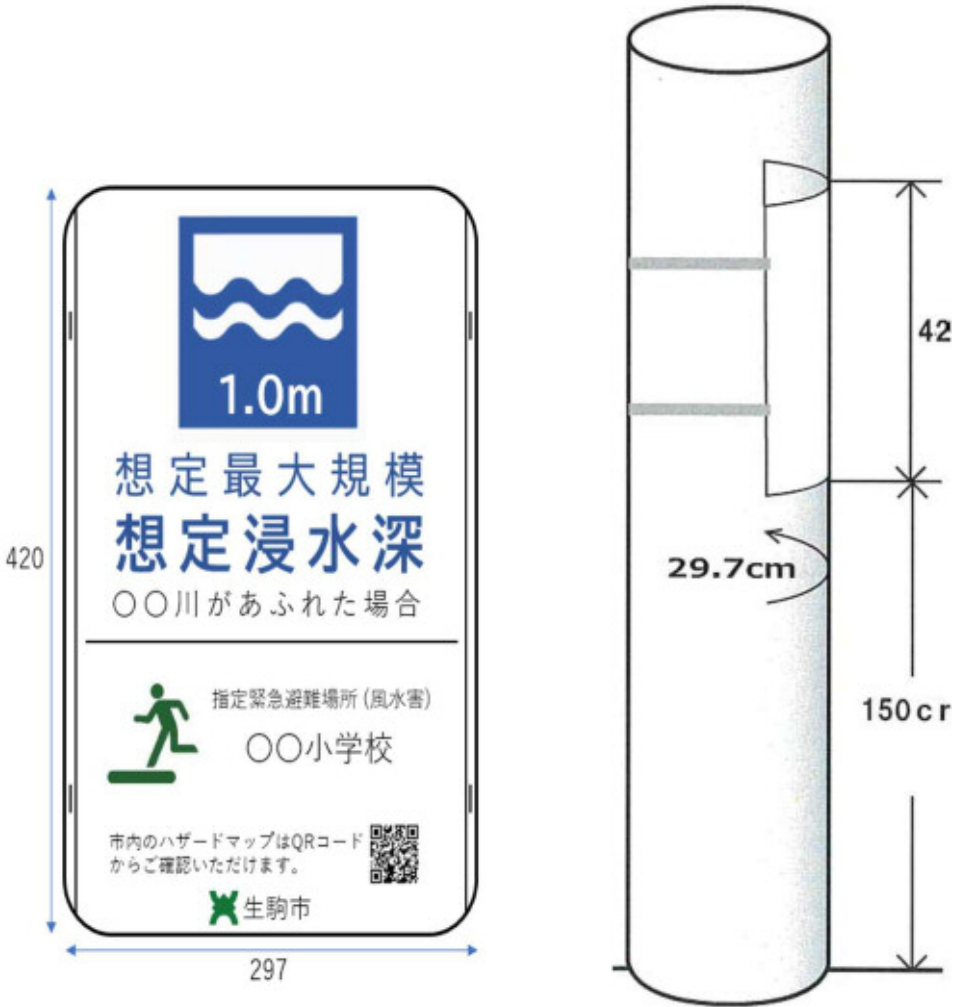
◎取組概要

まるごとまちごとハザードマップを設置中

- 設置枚数:20枚
- 取付場所: 生駒市内 浸水想定区域から選定
- 実施期間: 令和6年7月23日～令和6年12月27日

主な内容

避難誘導・想定浸水深表示板を電柱等に設置予定です。
平時においては住民、通行者及び旅行者等へ災害リスクを周知し、災害時には避難誘導の助けになることが期待されます。



小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施

取組No	大和川	29	紀の川	53	熊野川	29	木津川	22
取組機関	五條市			連携機関	なし			

◎取組概要

五條市では小学生を対象に災害対策には「自助」「共助」「公助」の3つあることを伝え、その中でも「自助」の自分たちの身は自分で守ること、「共助」の困ったときはみんなで助け合うことの大切さを説明、避難施設の確認などの防災教育を実施

防災教育メニュー

- ・紀伊半島大水害の被災箇所等について
- ・過去の災害歴史学習
- ・避難所開設体験(段ボールベッド・トイレの組立)
- ・ハザードマップを活用した学習
- ・マイタイムラインの作成 など

感想等

パワーポイントで実際に写真や資料を見ることやクイズ形式で参加してもらうことで、難しい言葉で説明するよりも伝えたいポイントや災害の様子がイメージしやすかったものと思われる。

また、ハザードマップを初めて見る子どもたちも多いため、自宅や学校、避難所を結ぶ経路にどのような危険箇所があるか学んでもらうことができた。

防災教育実施状況

令和2年度	1校
令和3年度	2校
令和4年度	3校
令和5年度	3校
令和6年度	6校

※R7.2.5 時点

小学校における防災教育の様子



小中学校や地域を対象とした災害教育の実施

取組No	大和川	29	紀の川	53	熊野川	29	木津川	22
取組機関	香芝市			連携機関	奈良地方気象台			

◎取組概要

市内小中学校の教職員を対象とした学校危機管理(気象災害への対応)に関する研修の実施

- 日 時: 令和6年8月8日
- 主 催: 香芝市危機管理課、学校支援室
- 参 加 者: 市内14小中学校教職員(校長・教頭)
- 講 師: 奈良地方気象台



研修の目的

教職員が、各小中学校の地域特性に応じて、危険箇所の把握や休校判断などができるようになることを目指し、児童・生徒の安全な登下校を確保するため、市防災担当課と学校担当課が合同で防災研修会を実施しました。

研修内容

- ① 奈良地方気象台より講師を招き、市内全小中学校の教職員(校長・教頭)に対し、防災気象情報の解説とその活用方法について講義を行いました。
- ② 防災気象情報について学んだ後、過去に避難情報が発令された大雨時の気象情報を基に、各学校区に分かれて防災マップを用いたグループワークを実施しました。参加者は、児童・生徒の安全を確保するための対応策について話し合い、各班で結果を発表しました。

平時からの住民への周知・教育・訓練に関する取り組み

取組No	大和川	29	紀の川	53	熊野川	29	木津川	22
------	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

取組機関	奈良県宇陀市	連携機関	なし
------	--------	------	----

◎取組概要

ブルーシート(災害への備え、避難計画)」の作成

全市民作成を目指し、自主防災組織や連合自治会等の防災講話で、当該地域のハザードマップを拡大詳細にして浸水害や土砂災害の危険を周知し、必要な備えを伝え、それぞれの避難計画を作成する。また、自宅に持ち帰り、家族と話し合って、さらに詳細な避難計画を家族単位で話し合いしていただく。

[illegible]

小中学校や地域を対象とした災害教育の実施

取組No	大和川	29	紀の川	53	熊野川	29	木津川	22
取組機関	平群町			連携機関	なし			

◎取組概要

地域を対象とした水害教育等の実施

- 日 時 : ①令和6年5月19日(日)②令和6年9月12日(木)③令和6年10月21日(月)
- 参加機関 : ①平群町 - 光ヶ丘自治会
②平群町 - 平群北小学校
③平群町 - 若井自治会
- 実施期間 : 随時実施

工夫した点

- ③ 用語を小学生(4年生48名)にわかる内容に簡単に水害から身を守るための防災学習を実施した

取組No	大和川	29	紀の川	53	熊野川	29	木津川	22
取組機関	吉野町			連携機関	なし			

◎取組概要

町内各地区での防災学習会の実施

- 日 時：①令和6年6月30日 ②令和6年7月21日 ③令和6年9月23日
- 実施場所：①轟地区 ②左曽自治会 ③山口自治会
- 内 容：能登半島地震から学ぶ防災対策について

左曽地区における防災学習会の様子



工夫した点

- ①石川県穴水町での(R6.2.25～R6.3.4)の罹災業務発行業務支援の際、見聞きした現場の状況や被害を受けられた方々、職員の方々の苦悩等について、資料を用いて説明
- ②自助・共助・公助の役割について説明した上で、平時から備えておくべきもの、体制について各地区で考えていただけるよう方向付けるように説明
- ③マイタイムラインの例や備蓄品(災害時に備えておくると便利なもの)等を紹介

小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施

取組No	大和川	29	紀の川	53	熊野川	29	木津川	22
取組機関	五條市			連携機関	なし			

◎取組概要

五條市では平成23年9月の紀伊半島大水害を風化させないために、これからの将来を担う子どもたちへ災害の恐ろしさや災害から学んだ教訓を継承しています。

▼内容

- ・五條中学校・五條小学校・五條南小学校の生徒を対象に令和6年8月27日に災害発生現場で防災教育を実施。
- ・実際に災害対応を行った元市職員から話を聞き、被災地(五條市大塔町 宇井地区)を見学。
- ・自分たちが住んでいる地域を舞台にハザードマップを活用し、マイタイムライン作り訓練を実施。
- ・段ボールベッド等の組立を通した避難所体験を実施。

▼感想等

実際に被災地を視察し、復旧された現在と当時を見比べてもらった。机上で学習するよりも被害の規模や復旧復興までのイメージが湧き、より一層の理解を深めれたと思われる。防災教育を受けた学生たちからも色々な質問が出て熱心さが伝わってきた。マイタイムライン作りでは、自宅や学校、避難所を結ぶ経路にどのような危険箇所があるか確認できたことに加え、早めの避難の重要性や事前にできる取り組みについて学んでもらうことができた。

防災教育の様子



小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施

取組No	大和川	29	紀の川	53	熊野川	29	木津川	22
取組機関	十津川村			連携機関	なし			

◎取組概要

防災対策を主題とした地区別懇談会を開催

- 日 時:令和6年7月25日～10月10日
(地区別に合計9回実施)
- 対象者:全村民
- 内 容:地区防災計画の策定に関する案内、促進
防災倉庫について
防災訓練の実施について

懇談会の様子



工夫した点

- ①令和6年能登半島地震の状況について現地で実際に支援を行った職員が当時の状況を説明した。また日向灘の地震により発表された南海トラフ地震臨時情報から、災害への備えと村での対応について説明し、改めて自助・共助の重要性について触れ、地区防災計画の策定を促した。
- ②蓄電池やガス発電機等の展示、紹介
- ③様々な内容の訓練を例に、防災訓練の実施について呼びかけた。

小中学校や地域を対象とした水災害教育の実施

取組No	大和川	29	紀の川	53	熊野川	29	木津川	22
取組機関	天川村			連携機関	なし			

◎取組概要

開催日時:令和6年7月8日(月)

対 象 者：天川小中学校4年生～9年生

実施内容

天川小中学校4年生～9年生を対象に、天川村で行っている防災対策や避難所の運営等を学習し、もし災害が発生し、避難所で生活する状況になった時、自分達ができることは何かを考えるワーク ショップを実施しました。



取組No	大和川	-	紀の川	56	熊野川	30・31	木津川	29
------	-----	---	-----	----	-----	-------	-----	----

取組機関	鳥取県	連携機関	鳥取県内市町村、鳥取県消防学校
------	-----	------	-----------------

令和5年度鳥取県地域防災リーダースキルアップ研修																									
開催要項																									
1 目的	鳥取県中部地震の教訓を踏まえ、地域における防災活動の担い手となる地域防災リーダー等のスキルの向上を図り、地域防災力の充実強化を図る。																								
2 日時	令和5年7月15日(土) 午前9時30分から午後5時00分まで																								
3 場所	鳥取県立福祉人材研修センター ホール(鳥取市伏野1729-5)																								
4 主催	鳥取県、鳥取市、一般財団法人日本防火・防災協会																								
5 後援	総務省消防庁																								
6 対象者	自治会・自主防災会員、消防団員、防災士など地域における防災活動の担い手となる方及び防災に関心のある学生等(100名程度)																								
7 受講料	無料(事前申込みが必要です。)																								
8 カリキュラム	<table><tr><th>時 間</th><th>内 容</th></tr><tr><td>9:30~10:00</td><td>受付・事前説明</td></tr><tr><td>10:00~10:05</td><td>開会・挨拶・事務連絡 鳥取県危機管理庁消防防災課、鳥取市危機管理部危機管理課</td></tr><tr><td>10:05~10:15</td><td>取組紹介 「支え愛マップづくりの支援について」 鳥取県危機管理庁消防防災課</td></tr><tr><td>10:15~10:25</td><td>取組紹介 「自主防災組織員向け基本コース ～救助資機材取扱い訓練について～」 鳥取県消防学校 講師 飯塚 博史</td></tr><tr><td>10:25~11:20</td><td>講演 「避難行動要支援者への支援」 講師 日野ボランティア・ネットワーク 代表 山田 弘彦 氏</td></tr><tr><td>11:20~11:30</td><td>休憩</td></tr><tr><td>11:30~12:30</td><td>講演 「震災直後の人権心理と行動」 講師 兵庫県立大学 環境人間学部・大学院環境人間学研究科 教授 木村 玲玖 氏 【オンライン】</td></tr><tr><td>12:30~13:30</td><td>昼休憩 ※昼食は各自でご準備ください。</td></tr><tr><td>13:30~15:50</td><td>演習 「鳥取県版避難所運営ゲーム(11UG)」 講師 鳥取県災害福祉支援センター、特任参事 白鳥 孝太 氏 鳥取大学 学生防災サークル 鳥大防災Lab.</td></tr><tr><td>15:50~16:00</td><td>本日のまとめ・閉会</td></tr><tr><td>16:00~17:00</td><td>本日の振り返り・質疑応答・アンケート記入</td></tr></table>	時 間	内 容	9:30~10:00	受付・事前説明	10:00~10:05	開会・挨拶・事務連絡 鳥取県危機管理庁消防防災課、鳥取市危機管理部危機管理課	10:05~10:15	取組紹介 「支え愛マップづくりの支援について」 鳥取県危機管理庁消防防災課	10:15~10:25	取組紹介 「自主防災組織員向け基本コース ～救助資機材取扱い訓練について～」 鳥取県消防学校 講師 飯塚 博史	10:25~11:20	講演 「避難行動要支援者への支援」 講師 日野ボランティア・ネットワーク 代表 山田 弘彦 氏	11:20~11:30	休憩	11:30~12:30	講演 「震災直後の人権心理と行動」 講師 兵庫県立大学 環境人間学部・大学院環境人間学研究科 教授 木村 玲玖 氏 【オンライン】	12:30~13:30	昼休憩 ※昼食は各自でご準備ください。	13:30~15:50	演習 「鳥取県版避難所運営ゲーム(11UG)」 講師 鳥取県災害福祉支援センター、特任参事 白鳥 孝太 氏 鳥取大学 学生防災サークル 鳥大防災Lab.	15:50~16:00	本日のまとめ・閉会	16:00~17:00	本日の振り返り・質疑応答・アンケート記入
時 間	内 容																								
9:30~10:00	受付・事前説明																								
10:00~10:05	開会・挨拶・事務連絡 鳥取県危機管理庁消防防災課、鳥取市危機管理部危機管理課																								
10:05~10:15	取組紹介 「支え愛マップづくりの支援について」 鳥取県危機管理庁消防防災課																								
10:15~10:25	取組紹介 「自主防災組織員向け基本コース ～救助資機材取扱い訓練について～」 鳥取県消防学校 講師 飯塚 博史																								
10:25~11:20	講演 「避難行動要支援者への支援」 講師 日野ボランティア・ネットワーク 代表 山田 弘彦 氏																								
11:20~11:30	休憩																								
11:30~12:30	講演 「震災直後の人権心理と行動」 講師 兵庫県立大学 環境人間学部・大学院環境人間学研究科 教授 木村 玲玖 氏 【オンライン】																								
12:30~13:30	昼休憩 ※昼食は各自でご準備ください。																								
13:30~15:50	演習 「鳥取県版避難所運営ゲーム(11UG)」 講師 鳥取県災害福祉支援センター、特任参事 白鳥 孝太 氏 鳥取大学 学生防災サークル 鳥大防災Lab.																								
15:50~16:00	本日のまとめ・閉会																								
16:00~17:00	本日の振り返り・質疑応答・アンケート記入																								

1 支え愛マップとは

災害時に誰かの手助け・声かけを必要とする人、声かけができる人、避難先など、一迫の情報を盛り込んだ地図

つくるのが目的ではなく、地域のことを話し合う中で、「目ざろからのつながり・支え愛」を考えてもらうことを大切にしています。

6 支え愛マップと個別避難計画

避難行動要支援者名簿

①作成主体：市町村

②対象：避難行動要支援者

要配慮者のうち、自ら避難することが困難な者であって、(略)特に支援を要する者

(例) ・要介護度3以上の高齢者
・身体・知的・精神障がい者
・貧困者 ※基準は市町村ごとに異なる

個別避難計画

●避難行動要支援者ごとに、優先度の高い人から作成

支え愛マップ

①作成主体：地域住民

②支援対象：地域住民の気になる人・心配な人
(避難行動要支援者を含む)

※地域住民同士で話し合うことは困難にならないため、

【出典】鳥取市 | 令和5年度鳥取県自主防災組織リーダー研修会実施報告書

https://www.nbouka.or.jp/lecture/pdf/2023/report/31tottori_2023.pdf

マイタイムライン・マイ防災マップの作成促進や、住民参加型の避難訓練の実施

取組No	大和川	26	紀の川	27	熊野川	32	木津川	27
取組機関	五條市、大淀町				連携機関	なし		

◎取組概要

具体的な事例として、五條市と大淀町では、ホームページにおいて、マイ・タイムラインの紹介、様式、記入例等を掲載している。

【出典】五條市__マイ・タイムラインを作りましょう <https://www.city.gojo.lg.jp/soshiki/kiki/3/4/8208.html>
大淀町__風水害に備えましょう http://www.town.oyodo.lg.jp/contents_detail.php?frmId=869#link-6

平時からの住民への周知・教育・訓練に関する取り組み

取組No	大和川	26	紀の川	27	熊野川	32	木津川	27
------	-----	----	-----	----	-----	----	-----	----

取組機関	奈良県宇陀市	連携機関	なし
------	--------	------	----

◎取組概要

ブルーシート(災害への備え、避難計画)」の作成

全市民作成を目指し、自主防災組織や連合自治会等の防災講話で、当該地域のハザードマップを拡大詳細にして浸水害や土砂災害の危険を周知し、必要な備えを伝え、それぞれの避難計画を作成する。また、自宅に持ち帰り、家族と話し合って、さらに詳細な避難計画を家族単位で話し合いしていただく。

[illegible]

マイタイムライン・マイ防災マップの作成促進や、住民参加型の避難訓練の実施

取組No	大和川	26	紀の川	27	熊野川	32	木津川	27
取組機関	下北山村			連携機関	総務省近畿総合通信局・奈良県			

◎取組概要

陸路の搬送ルートが途絶した場合を想定した想定し、空路による搬送手順の確認と支援機器及び人員の搬送訓練のほか、役場職員た住民への災害対策用移動通信機器等の操作体験訓練等を実施することにより、防災意識の高揚と地域防災力の向上を図る目的で実施しました。
また、中学生を対象に電波教室を開催し、災害時に利用する無線の仕組み等について学ぶ機会を提供しました。

○日時 令和6年11月13日(水)、14日(木)

○実施場所 下北山小中学校、下北山村役場、
下北山スポーツ公園及び池原公民館



○訓練の内容

- (1)ヘリコプターによる近畿総合通信局の移動通信機器等(※)の搬送
- (2)下北山小中学校 後期課程(中学生)生徒への電波教室及び通信機器操作体験
- (3)住民参加による通信機器及びLPG エンジン式発電機操作体験
- (4)下北山村役場と下北山スポーツ公園及び池原公民館との間等の通信確保訓練
- (5)耐災害性の高いネットワーク技術を活用した通信網を利用した下北山村と奈良県との間の通信確保訓練

マイタイムライン・マイ防災マップの作成促進や、住民参加型の避難訓練の実施

取組No	大和川	26	紀の川	27	熊野川	32	木津川	27
取組機関	上北山村			連携機関	なし			

◎取組概要

地域場タイムライン作成研修の実施

一般財団法人消防防災科学センターの令和6年度市町村防災研修事業を活用し、消防団や民生委員、区長を対象に、地域版タイムライン(風水害)作成研修を実施した。



災害防除事業

道路防災機能の向上や、交通安全・移動上の利便性を確保するため、村道の法面对策を行いました。(村道和佐又～伯母峰峠)



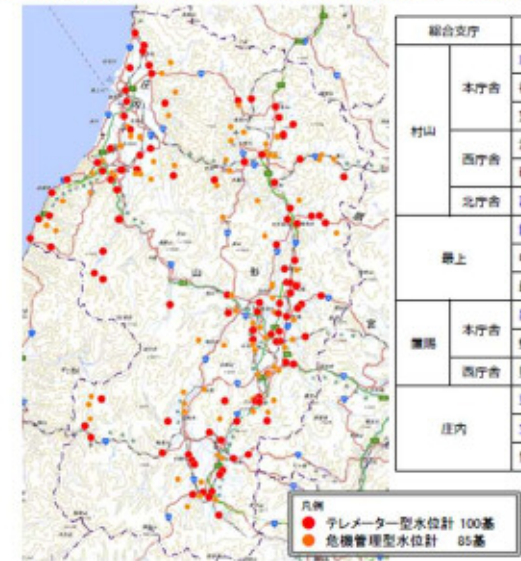
簡易水位計、量水標、河川監視用の CCTV カメラの設置等

取組No	大和川	37	紀の川	35	熊野川	33-1	木津川	37
------	-----	----	-----	----	-----	------	-----	----

取組機関	山形県	連携機関	小国町、山形県、山形地方气象台、北陸地方整備局 羽越河川国道事務所
------	-----	------	-----------------------------------

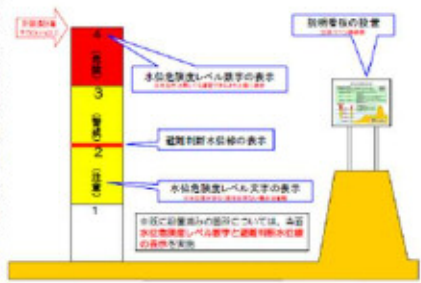
危機管理型水位計の運用開始

- 平成31年4月より、「川の防災情報」ホームページにて平成30年度に設置した危機管理型水位計85基の水位情報の公開を開始
- 設置箇所は、受持ち区間の長い既存水位計の補完が必要な河川、重要施設が近接する河川、近年家屋への浸水被害が必要な河川等から選定
- 住民の避難判断の目安とするため、関係市町にリーフレットを提供し周知を図った。



量水標の整備

○住民の目に留まりやすい場所に避難に結びつく量水標や標識を設置



▲ 見やすい量水標の設置 野尻川（尾花沢市野尻沢）

簡易型河川監視カメラの設置

- 出水時にリアルタイムのある洪水状況を画像として住民と共有し、適切な避難判断を促すため、新たに簡易型河川監視カメラ91基を設置
 - 最新の画像を河川情報センターが運営する「川の防災情報」のホームページで公開予定（令和2年4月1日運用開始）
- ※ズームや首振りなどの機能を排除して機能を限定することにより低コスト化を図ったもので、一定間隔で静止画像を撮影し、LTE回線などの無線通信で伝送するもの

総合支庁	RO1
村山	本庁舎 馬見ヶ崎川 西庁舎 (完了) 北庁舎 蔵気川、丹生川
最上	最上小国川②
置賜	本庁舎 黒川、天王川、 西庁舎 最上川、屋代川、横川
庄内	温海川、五十川、 大山川②、京田、 月光川、小牧川
合計	21河川

※河川名の後に示した数は、複数



▲ 試験画像（上：昼間 下：夜間）
凡例
● 簡易型河川監視カメラ 91基
● 従来型監視カメラ 5基



簡易水位計、量水標、河川監視用の CCTV カメラの設置等

取組No	大和川	37	紀の川	35	熊野川	33-1	木津川	37
取組機関	奈良市			連携機関	なし			

【目的】

- 水位センサーを市内の中小河川等に10基程度設置し、それぞれの水位状況をリアルタイムで確認することができるシステムを構築することで、水防活動や地域住民の避難の支援に利活用する。
- 令和7年度4月運用開始予定。

例:押熊川



【効果】

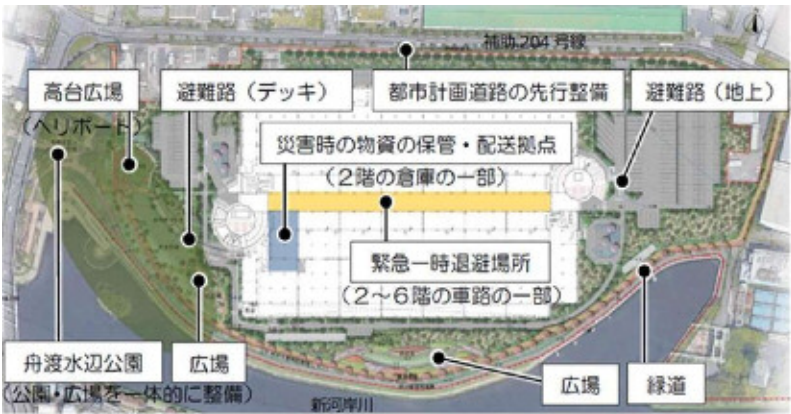
- 水位センサからのリアルタイム水位情報を自動的に収集することで、現場確認のための人員を減少させるとともに、限られた人員を効率的に配分することができる。
- カメラでは判断できない具体的な水位情報を得られることで、数値分析による予測精度を高めた住民への避難情報発令が可能となる。

応急的な避難場所の確保

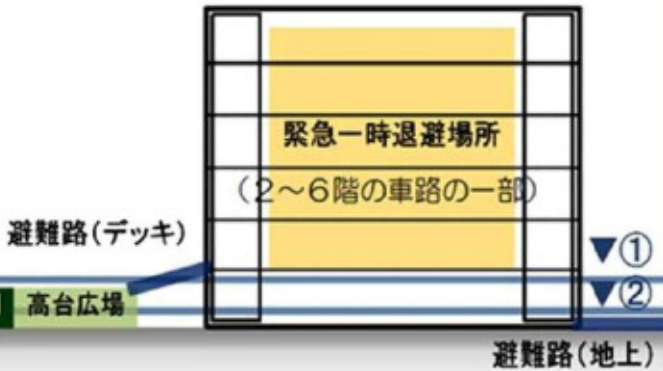
取組No	大和川	25	紀の川	26	熊野川	35	木津川	31
取組機関	東京都板橋区				連携機関	三井不動産株式会社、日鉄興和不動産株式会社、ヤマト運輸株式会社		

◎取組概要

板橋区の舟渡・新河岸地区は、2020年12月に国と東京都が策定した「災害に強い首都『東京』形成ビジョン」のモデル地区に位置付けられており、防災上有効な施設について、都市計画制度を活用した官民連携による「高台まちづくり」を推進している。浸水地域に取り残された区民の命を守るための有効な施設として、高台広場、避難施設（緊急一時退避場所）、避難路等の整備について定め、当該施設を事業者が整備することで、高台まちづくりの実現が期待されている。



資料：板橋区（出典：三井不動産株式会社・日鉄興和不動産株式会社）



- 事業者の主な地域貢献の内容（災害への寄与）
- ◎災害時にヘリポートとしても活用可能な高台広場を整備
 - ◎河川氾濫時に地域住民(1,000人)が利用できる緊急一時退避場所の整備
 - ◎高台広場から物流施設内の緊急一時退避場所を接続する避難路の整備
 - ◎災害時の備蓄物資の保管・配送拠点として倉庫の一部を区へ提供

※本地区は浸水時間が長期化するため、一時退避場所である本施設から区南部の高台へ避難するための方策については現在検討中

地区計画に定めた水害時に機能する高台広場のイメージ(東京都板橋区)

民間施設を活用した避難場所・避難経路の指定及び周知、
効率的な避難所運営方法の検討

取組No	大和川	24	紀の川	25	熊野川	36	木津川	36
取組機関	五條市、下市町、東吉野村				連携機関	なし		

◎取組概要

五條市や下市町では、ハザードマップに避難時に避難経路を選択する際の注意点を記載。また、東吉野村では、避難所までのおおまかな避難経路を記載している。

●避難ルートを考えてみてください。

実際に指定緊急避難場所および指定避難所まで歩いてみて、安全で避難しやすい経路を確認しておきましょう。夜道でも安全に避難できるように目印のある道路を選びましょう。

五條市



安全なルートで避難

避難所への経路は、川べりや低い道などは避け、できるだけ安全な広い道を選びましょう。

下市町

五條市、下市町ではハザードマップ情報面にて避難経路の考え方を記載

東吉野村では、ハザードマップに避難所までのおおまかな避難経路を記載



【出典】五條市 洪水・土砂災害ハザードマップ <https://www.city.gojo.lg.jp/soshiki/kiki/3/4/3/11425.html>
下市町 下市町防災マップ <https://www.town.shimoichi.lg.jp/0000000101.html>
東吉野村 防災情報マップ <http://www.vill.higashiyoshino.nara.jp/life/bousai/>

民間施設を活用した避難場所・避難経路の指定及び周知、
効率的な避難所運営方法の検討

取組No	大和川	24	紀の川	25	熊野川	36	木津川	36
取組機関	安堵町			連携機関	なし			

◎取組概要

安堵町で災害協定先団体等による防災フェスタを開催し、住民などにハザードマップを配布し、防災減災関連を学ぶ啓発を実施

- 日時：令和6年11月24日
- 参加機関：自衛隊・警察・消防・大和川河川事務所・幸田町、他災害協定締結先団体等
- 町災害協定締結団体等による防災関連ブースを設けた他、安堵町消防団や自主防災組織、町ハザードマップ配布ブースを設けて住民に配布を行い防災意識の高揚を図った。
- 消防庁から派遣された語り部による防災講演会を実施

防災フェスタの様子



工夫した点

- ①防災講演会において、安堵町は町南部において大和川、富雄川、岡崎川の3河川が合流する地点となっており毎年大雨洪水警報等により水害が多く発生しており講演会の内容を水害対策に沿ったものを選定した。
- ②自衛隊・警察・消防・ドローン等を体験型としてブースを設置し、多くの住民に直接触れてもらうことで、啓発を行った。